

Community Medicine

— 地域医療の架け橋 —

2026年冬号

第 86 号

つばさ

地域の皆さまに信頼される病院として
安全で質の高い医療を提供します。

独立行政法人地域医療機能推進機構

神戸中央病院

〒651-1145

神戸市北区惣山町2丁目1-1

TEL 078-594-2211

FAX 078-594-2244

<http://kobe.jcho.go.jp/>

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

令和8年の新年を迎えるにあたり、コロナ禍およびその後の施設運営の変化を振り返ってみたいと思います。令和2年の正月、中国・武漢において原因不明の肺炎が報じられ、同年2月にはダイヤモンド・プリンセス号での集団感染が発生しました。以後、国内では約3年間にわたり、感染の大きな波に見舞われることとなりました。

その結果、医療現場にはいくつかの大きな変化が生じました。第一に、感染対策意識の定着です。マスク着用や手指衛生が日常的なものとなり、当院においても、従来からの強固な感染対策体制を引き続き維持しております。

次に、医業経営の面での厳しさです。若干の診療報酬のアップはありましたが、それを大きく上回る人件費や医療材料費、光熱費の高騰に加え、働き方改革による労働時間制限が重なり、医療機関は厳しい経営環境に置かれています。政府は補正予算や診療報酬改定による支援を進めていますが、今後も厳しい状況が続くことが予想されます。当院は、このような環境下においても、神戸市北区本区地域で唯一の地域医療支援病院として、堅実な医療体制の維持に努めてまいります。

本年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。十干の「丙」と十二支の「午」が組み合わさった年で、火の性質を持つことから、非常に強いエネルギーと活気を象徴するとされています。

当院では、1月に新たに院長特任補佐および、欠員となっていた病理医が着任されます。本年は、これらの新たな力を得て、強いエネルギーをもって地域医療に貢献してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



院長 松本 圭吾

年男ご紹介



宮川 徹
消化器内科

丙午生まれで今年還暦となりますがその実感なく、気持ちには若いつもりでいます。体は着実にがたが来ています。老体に鞭打って、神戸市北区の皆さんでもある当院の救急・HCUでまだまだ頑張っていきたいのでよろしくお願い申し上げます。

新任医師



さわだ たかひさ
沢田 尚久

副院長・院長特任補佐
循環器内科

1月より副院長・院長特任補佐として着任しました。前任地は京都第一赤十字病院です。これまでの経験を活かして、当院の更なる発展・医療を通じた社会貢献に尽くしたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。



おおいし たかまさ
大西 隆仁

病理診断科
部長

1月から病理診断科で勤務させていただきます。前の勤務地は市立西脇病院で、出身大学は徳島大学です。私の培った経験と知識を地域の皆様に役立てよう努めてまいります。よろしくお願い申し上げます。

近隣医療機関のご紹介

のだホームケアクリニック

〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町1丁目10-1 善喜ビル2階
TEL：078-595-8330 FAX：078-595-8331

診療科目：
循環器内科

診療時間(予約制)	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～13:00	●	×	●	●	●	●	×
14:00～18:00	●	×	●	×	●	×	×

※訪問診療(在宅医療)を優先しているため、外来対応には限りがございます。
必ず事前にご予約ください。



野田 哲平 院長

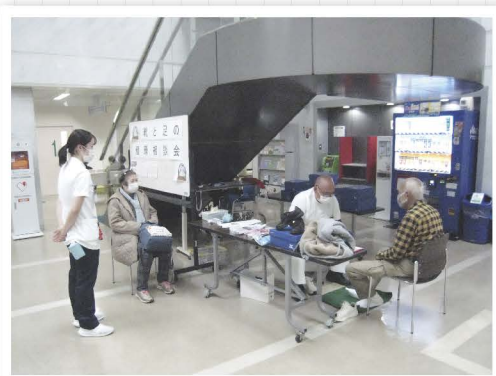
2025年5月に開院いたしました「のだホームケアクリニック」院長の野田哲平と申します。当院は、通院が困難な患者さまのご自宅や施設へお伺いし、安心して日々の生活を送っていただけるよう支援する在宅医療専門のクリニックです。これまで約17年間、大阪の基幹病院にて循環器疾患を中心に内科全般、慢性疾患の管理、終末期医療にも携わってまいりました。ご縁があり鈴蘭台駅前に開院することとなり、これまでの経験を地域の皆様にお返しできればと思っております。一般内科、生活習慣病、認知症、高齢者医療に加えて在宅での看取りにも対応しております。訪問看護や介護事業所とも協力し、在宅での環境づくりをお手伝いさせていただきます。在宅医療の対象となる可能性のある患者様がおられましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



第8回 靴と足の健康相談会を開催しました

リハビリテーション科診療部 療法士長 三本 坪大

去る、11月18日(火)に当院正面玄関ロビーにて、第8回靴と足の健康相談会を開催しました。諸事情により約5年間ぶりの再開となりましたが、想定以上の7名の方の相談を受け付けることが出来ました。時間を延長して対応させていただきましたが、かなりの待ち時間が生じてしまい申し訳ありませんでした。早速、次回開催日の問い合わせなどの反響もありましたので、温かくなってきた頃に9回目が開催できるように準備いたします。次回もよろしくお願い致します。





健康チェックスポに参加して

健康管理センター 管理課長 街 佳代子

健康管理センターは、本院（院内）とハーバーランドに附属健康管理センターがあります。令和7年10月25日（土）に神戸市民の健康への関心と健康づくりを実践してもらうことを目的とした『かめめに健康チェックスポ』に3年連続で参加しておりますが、今回も大阪関西万博に負けず劣らず大盛況となりました。当院の健康管理センターは年間約5万人の健診を実施しておりますが、健康イベントに参加することで更に神戸中央病院 健康管理センターを知って頂き、生活習慣病の早期発見と皆様の健康維持・健康増進をお手伝いして行きたいと思っております。人間ドック・一般健診・特定健診・がん検診・その他のオプション検査などのお問い合わせ、ご予約をお待ちしております。（*^_^*）

お問い合わせ・ご予約

月～金曜日（年末年始・祝祭日除く） 8:30～17:00

TEL (078) 594-8622（健康管理センター 直通）

FAX (078) 594-8662



院内デイケアの紹介

老人看護専門看護師 副看護課長 大山 まどか

院内デイケアは、せん妄の予防や軽減・睡眠覚醒リズムの改善などに効果があると報告があり、実施する急性期病院が増えてきています。当院においても、2025年3月から看護師を中心に開始し、9月から作業療法士も一緒に実施しています。

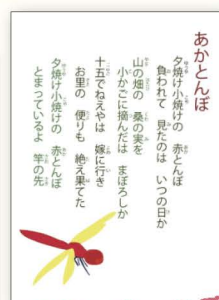
院内デイケアは、毎週木曜日14時30分から45分間実施しています。内容は、自己紹介タイム・今日は何の日クイズ・体操・音楽療法などです。患者様からは「毎日して欲しい」「入院中にこんな体験ができるとは思わなかった」、家族様からは「母の笑顔が見れて良かった」「気にかけてもらって嬉しい」等の感想があり、毎回笑顔になって病室へ戻られます。今後も多くの患者様・家族様に喜んで頂こうと職員一同、努めて参りたいと思っております。



自己紹介



体操



季節に合った歌を歌います



今日は何の日クイズ



レケンビ(レカネマブ)について

65歳以上の7人に1人が認知症、4人に1人がMCI(軽度認知機能障害)が認知症と言われるくらい、この種の疾患は現状頻繁に目にするものとなっており、中でも約7割がアルツハイマー病に由来すると最近は考えられています。

この病に対しては表1に示したように、30年以上に渡ってドネペジルに代表される症状緩和薬が使用されてきました。その上で今日、症状メカニズムの発端に位置するアミロイドベータの蓄積を、脳内へのIgG抗体投与により除去するという、いわば根本治療薬と呼べる薬剤が2023年12月より本邦でも認可となり、現在は2剤(レケンビとケサンラ)が使用可能となっています。

当院でも2025年より、この病に対してレケンビの投与を始めています。一方のケサンラに関しては、表1に示したように治療効果は高いものの、やや副作用発現率が高い傾向にあり、今の所は検討中です。まず副作用ですが、ARIA(amyloid-related imaging abnormalities)への注意が必要となります。脳内で行われるアミロイド除去の免疫反応に由来する浮腫や小出血です。これがレケンビの場合、世界で行われた第Ⅲ層臨床試験時にはそれぞれ13%と17%だったのですが、2025年6月に本邦で示された実臨床での543例・28週経過後の中間報告では、1.7%と3%・重篤な副作用なしとの事で、かなり少なくなっているのは朗報です。あと抗体医薬品特有のインフュージョンリアクションの問題があり、当院では初回投与時には1泊入院でとの方針となっています。

効果に関しては、症状の進行を25~30%・期間にして7~8ヶ月遅らせるとの事です。半年と少し遅らせるという効果は、実は30年間使ってきた旧薬群とさほど違いは無く、新薬が専門医の間で時に「効能は画期的だが効果は今ひとつ」と噂されている原因となっています。これには表2に示した様に、アミロイドの蓄積開始から長い時間の経過後に投与開始となる事が主因と考えられています。この期間を出るだけ短縮するためあって、投与対象は認知症テストのMMSEにて22点以上の、かなり早期のMCIとされています。

アルツハイマー病に関しては、今回取り上げた新薬の自己注射薬や血液検査診断薬が本邦でもすでに承認待ちとなっており、その治療が更に大きく変化していく状況にあります。当院としては、そうした新知見に対応しながら、患者さんや介護者の希望や不安や負担を認識しつつ、タイミングを合わせた支援や医療を今後も行っていく所存ですので、引き続きご紹介の程をよろしくお願いいたします。また神戸市在住の65歳以上の方に関しては、市の認知症検診を利用することにより、診断確定までの費用が無料となる制度もあります。当院でも対応しておりますので、市民の方は検討してください。

表1 アルツハイマー病の治療薬

新薬 (2年)	旧薬 (30年~)
2種類の点滴薬 レケンビとケサンラ	4種類の内服薬と貼付薬
MCI	早期~後期認知症
根本治療: アミロイドの除去	対症療法: 神経伝達の改善
追加検査 (PETが腰椎穿刺)	無し

第Ⅲ層臨床試験より	レケンビ	ケサンラ
アミロイド除去率(18ヶ月)	59%	84%
投薬の頻度	2週間に1回	1月に1回
浮腫・小出血の副作用	13%・17%	24%・19%
副作用関連の死亡	0/898例	2/853例

表2

アルツハイマー病はアミロイドベータが溜まり始めて以降、長い時間をかけて少しずつ進行していきます。

